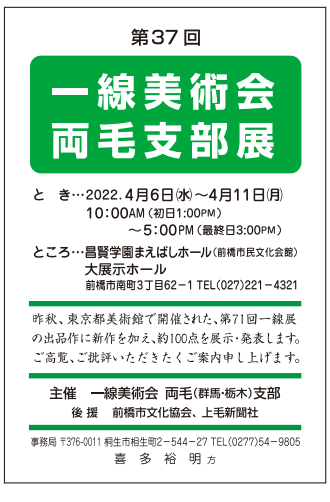
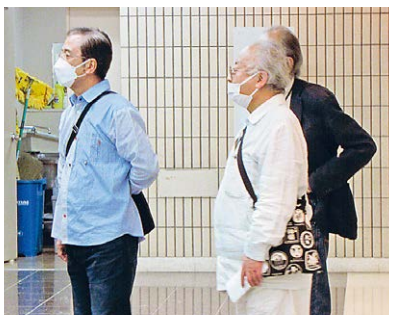
第37回 一線美術会両毛（群馬栃木）支部展

両毛支部事務局　喜　多　裕　明

◦会　期…令和４年４月６日㈬～ 11 日㈪
◦会　場…昌賢学園まえばしホール
　　（前橋市民文化会館）大展示ホール
◦後　援…前橋市文化協会・上毛新聞社



第 37 一線美術会両毛（群馬・栃木）支部展は、昨秋東京都美術館で開催された第 71 回一線美術会展の出品作品と 50 号以下の新作一人 1 点で、出品会員数 30 名、出品作品合計 59 点での展示となりました。例年と同様に、初日の午前中に作品展示をし、午後から公開となりました。会期中は穏やかな日々の中、３６１人のご来場者を迎えることが出来ました。

期間中は、コロナ禍にもかかわらず、遥々と群馬の地まで、橋本理事長はじめ髙木理事、小林事務局長、中野中先生、各支部関係者の皆様にご高覧頂き、懇切丁寧に、ご指導及び貴重なご意見を頂きました。深く感謝申し上げます。

両毛支部展は、コロナ禍のため２年連続で開催が中止となり、今回は久しぶりの開催となりました。準備期間中は、コロナ感染が再拡大しないか、ハラハラしていましたが無事開催の運びとなりました。出品者は年々減少し、現在は最盛期の三分の一程度の人数となり、毎年展示スペースづくりに頭を悩ませていた展示ホールは、外周壁＋パネル 10 枚で作品全部の展示が出来てしまいました。広々とした展示ホールは却ってコロナ事情に対応した雰囲気で、思わぬ結果に変に納得していました。受付も今までとは違い、来場者には必ず記帳していただき、クラスター発生時の万が一の備えとし、除菌スプレーと除菌アルコールティッシュ、不織布マスクを用意し、感染予防に注意を払いました。支部会員には例年にない労力となりましたが、進んで受付席についていただきました。今年の支部展は、支部会員夫々の想いが集まった、感慨深い支部展となりました。様々な問題もありますが、今後も力作が多数展示出来るよう支部会員一同頑張って行きたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。